



流星 第33号(OB会誌20号)	超子 河村 ライラスト 伊東	七生(元部 (44	反 • d	X (A)	
目 次 巻頭言	部顧問	森	去		2
所感	会長	伊東	(3
<現役報告>					
新幹部挨拶、部員名簿、新入部員挨拶					4
2021年度自動車部活動結果報告					5
2022年度自動車部活動計画					9
第59回 ACK・KIT北九州ラリー詳報					10
2021年9月26日 現役・OB交流会報告					11
<現役支援活動>	相如大法和火		,	111)	10
現役支援サポート隊の取り組みについて	現役交流担当	山下	(H1)	12
現役・0B交流会2021 オンライン開催! <0B会>	現役交流担当	山下	(H1)	15
2021年度活動報告	事務局	中西	(50)	16
2021年度活動報告	会計	武地	(51)	17
会計監查報告	会計監査	田中	(45)	18
2022年度活動計画、役員人事	事務局	中西	(50)	19
2022年度予算	会計	武地	(51)	21
2021年度会費、部活動援助費、OB会カンパ振り込み		74.6	,	01/	22
予告 第11回0B会総会開催について	中京地区幹事	川越	(47)	23
報告 「臨時書面審議総会」の結果ご報告及びお願い	事務局	中西	(50)	24
連絡 会費振込に関する変更のお知らせ	会計	武地	(51)	27
寄稿 OB会中四国地区発足にあたって	中四国地区幹事	八木	(45)	28
寄稿 ホンダF1レーシング活動に携わって思うこと		坂井	(52)	29
寄稿 車のハンドルを飛行機の操縦桿に持ち替えて		槙本	(54)	31
寄稿 2020年度卒業生からの近況報告					33
会員名簿(物故者含む)					34
編集後記					35

【重要】<u>住所やE-mailアドレスが変更になった方は、OB会に速やかにご連絡願います。</u>

ウイズコロナと学生活動

部顧問 森 教授

昨年から始まったコロナの蔓延は、新型のコロナが誕生するなど、今年に入ってらに世界に拡大して混乱を招きました。国内ではワクチン接種が進み、ようやく日常を取り戻す兆しが見え始めています。その中で私たちの日常は変化しつつあります。パソコンやスマートホンと向き合う時間が増え、SNSが対話の手段となり、ネット空間で過ごすのが今まで以上に当たり前になりました。

同時に部活動等も大きく変化しております。この原稿を書いている11月初旬は強力を書いているであれば工大祭の準備に学生当当に、教員も学内展示や警備の担したか落ちコーナに依りこのであれば、学内に依りはのでは出したのでは出出場とでは出まりではは出来ととがでははいかといるがではないととなりとなりとなりとなりとなりがではないかと思うできる。

近年「遠隔」「リモート」等々が満ち溢れ、感染防止のためにスキンシップが皆無になり何処へ行くにもマスク着用と検温と消毒が当たり前になりましたが、このような状況下において幾分変化の兆しも現れております。本学はクオーター制(4学期制)でありますが、後期からは対面講義の機会を増やすように求められております。

とは云っても着席の間隔やリモート希望の 学生配慮等があり教員の負担は相当増加し ております。部活動や学園祭等も「ハイブ リッド」化が進行しつつあります。参加人 数の制限や時間による予約制など開催する には手間暇が掛かるシステムでないと活動 出来ない状況です。体育会の活動全体も中 止や延期が続いておりましたが一部は復活 しつつあります。観客制限等があり、開催 要項を公表しない大会も多く一般の方々や OB諸氏の応援もままならない状態であり ます。部活動においては例年以上に手間や 費用が掛かり、活動の支障にもなっており ます。ウイズコロナの時代では学生の活動 が見えず応援も出来ないかもしれません が、学生諸君の情熱は変わることはありま せんのでこれからの活動に関して暖かいご 支援をお願いしたく存じます。

昔の体育館が産学連携の拠点になるそうで す。

https://www.kyutech.ac.jp/whats-new/press/entry-8179.html



「降りてゆく生き方」

自動車部OB会 会長 伊東 (44)

昨年から蔓延が続く新型コロナウイルス の感染拡大の中で様々な経済活動が制約さ れ、イベントも中止、延期が相次いでき た。オリンピック・パラリンピックも賛否 の意見が飛び交う中で世界の注目を集めて 一年遅れで開催された。秋が深まるにつれ て国を挙げてのワクチン接種の効果である うか、G7の中で最多の接種率でようやく 感染者数も減少に転じてきている。来年こ そはウイズコロナとしても日常が戻ってく ることを祈っている。我々自動車部OB総 会も止む無く延期された次第である。この ような状況の中で外出もできない人々の心 は落ち込み、パンデミックを迎えての生き 方などにも考えを巡らせている方もおられ るのではないだろうか。

私の中学校時代の親友に「苅谷俊介」君 がいる。苅谷君と私は大分県の別府湾を望 む中学校で学び3年間を過ごした。その 後、彼は工業高校で化学を専攻し千葉の化 学会社へ就職した。時は大気汚染をはじめ とする公害被害が大きな社会問題となって いた。彼は公害企業に属するよりも外に道 はないものかと模索していたが、ふと目に した俳優養成所の看板を見て門を叩いたの である。その後、渡哲也氏の知遇を得て1 970年助監督を経て映画俳優としてデ ビュー。人気TV番組「西部警察」で刑事 役として活躍したのでご記憶の方も多いと 思う。その後、石原裕次郎軍団でも出演 し、NHK大河ドラマや朝ドラなどで演技 派俳優として活躍する傍ら、考古学者とし ても意欲的に活動を続けている。数ある映 画の中で苅谷君が武田鉄矢氏と共演したの が映画「降りてゆく生き方」である。20 11年秋に制作された映画の内容を紹介し たい。

この映画は世代をこえて現代人が抱える 大きな悩みである「生きかた」を中心に、 「いのちの大切さ」「環境問題」「食の問題」「限界集落」などがぎっしり詰まった 作品です。私たち日本人は、第二次大戦 後、物質的、経済的な豊かさこそが幸福へ の道と信じ、戦後の何もない焼け野原か

ら、国民一体となって必死に努力してき た。そして日本は世界でも有数の豊かで便 利な国となった。まさに私たちはかっての 夢を実現したのである。ところがいま日本 では数々の問題が発生している、格差社 会。勝ち組・負け組。少子高齢化。地域間 格差。年金問題。多発する少年犯罪。偽装 問題。食品問題。年間3万人を超える自殺 者。派遣切り等々、現代の日本を生きる私 たちの不安はもはや数限りない。私たちは 「豊かになる!」という夢を実現した。そ れは想像以上の形で実現したといってよ い。しかし現実には幸福になるどころか、 未来の夢と希望を喪失している日本人であ ふれかえっているのではないだろうか。戦 後日本人のみならず世界中の人々は科学技 術の進歩にこそ人類の明るい未来の希望が あると考えていた。そのハイライトは世界 中が熱狂した、米国のアポロ計画による月 面着陸であろう。人間の科学技術は、もは やどんな問題でも解決できると当時の人々 は考えたことであろう。まさに「昇ってい く時代」の象徴といえよう。ところが月着 陸からほどなくしてローマクラブが「成長 の限界」を発表して、このまま地球の環境 破壊が進めば環境悪化と資源の枯渇によっ て人類は成長の限界に達する、と論じたの であった。人間の科学技術は人間の輝かし い未来を保証するものではなく、環境破壊 によって人類を滅亡へと誘うものになって いたのである。

翻って現状を見てみると世界環境会議 COP26では気候変動について先進国・発展途上国の間で厳しい論議が交わされ脱炭素へ向けての取り組みが提案されている。 しかしながらわが日本はこの会議で不名誉な「化石賞」を送られている。

自分も75歳を過ぎて、今後の人生に於ける「降りてゆく生き方」を改めて考えてみたい。

新幹部挨拶

主将

3年 藤井

昨年に引き続き主将を務めることとなりました、第82回主将の藤井と申します。来年度も部員達と共に、学生戦やラリー運営など様々な行事に参加しながら、結果を残して行こうと思います。

今年度は新型コロナウイルス感染症の脅威が少し弱まり、普段どおりまでとはいきませんが部活動をすることが出来ました。来年も引き続き感染症対策などに心がけながら、感染者を出さないように部活動を行っていきたいと思っています。長い歴史のある自動車部を引きつぎ、主将として部員全員をまとめながら、お互いに高めあっていこうと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



主務・OB担当

3年 柴田

昨年度に引き続き、主務・OB担当を務めさせていただくことになりました、柴田 と申します。最近まで新型コロナウイルスの影響により活動が制限されていましたが、少しずつではありますが大会等の課外活動が増えてきました。部員の活躍の場が増えてくると思いますので、動画やfacebook等を用いてしっかりと活動報告をしていきたいと考えています。

これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



部員名簿(2021年12月現在)

役職	学科・学年	氏名	役職	学科・学年	氏名
監督	• M1	原田	学連	• 3	鶴田
主将	• 3	藤井	学連	• 1	赤嶺
ラリー委員長	• 2	猪熊		• 3	吉田
会計・学連	• 3	平島		• 3	林
主務·OB担当	• 3	柴田		• 3	佐々木
車庫担当	• 3	松山		• 3	山本
学連	· M1	長森		• 4	豊村

新入部員挨拶

1年 赤嶺

自動車部には部活動紹介のPVをきっかけに入部しました。 それまでは免許は持っていても車の運転が怖くて、楽しいとは思っても みませんでしたが、先輩方が運転している動画を見て、また助手席に乗 せてもらって、車ってこんな動きができるのかと衝撃を受け、自分も こんなふうに車を操れるようになりたいと思い入部しました。車の知識 が乏しいので、これから先輩方に仕組みや整備、運転技術を教わって いけたらと思っています。



今年の新入部員は1名でした。来年度の新入生歓迎にも力を入れ、より多くの新入部員 獲得に自動車部一同努めてまいります。

2021年度 自動車部活動結果報告

2021年度 自動車部年間スケジュール

2021年	4月	オンライン部活動紹介
	5月	車両展示
		2021 ACK SPRING ラリー延期
	6月	全九州学生春季ジムカーナ大会
	7月	恋の浦 Rally Challenge,オートテスト主催(ACK)
		2021 ACK SPRING ラリー主催
	9月	OB交流会(オンライン)
	11月	第59回 ACK・KIT北九州ラリー開催
		工大祭(オンライン・対面)
	12月	全九州学生秋季ダートトライアル大会
		幹部交代式(予定)
2022年	3月	追い出しコンパ(予定)

2021年の主な活動内容

1. オンライン部活動紹介・車両展示

2021年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により対面での部活動紹介等の勧誘活動が制限されました。そのため、オンラインで部活動紹介を行いました。

また、5月には大学構内で部車・個人車の車両展示を2日間行いました。

近年、コロナ禍で新入生獲得が難しくなっていますが、このような活動やYouTube等を通して多くの新入部員を増やしていこうと思います。



車両展示中の様子

2. 全日本学生自動車連盟九州支部(以下、学連)が主催するジムカーナ大会への参戦

6月26日(土)に全九州春季ジムカーナ大会が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大により、部活動が制限されている中で大学から許可をもらって無事参加することができました。団体戦1チーム3名と個人戦3名が出場しました。今大会での成績は下記の通りです。

<団体戦>

林 、豊村 、藤井 第1位/4校中

<個人戦>

原田M2クラス第1位/2名中猪熊ビギナークラス第1位/3名中山本ビギナークラス第2位/3名中

12月11日(土)に開催される全九州学生秋季ダートトライアル大会では、団体総合優勝を目指して頑張っていこうと思います。なお、当部から4名の連盟委員を派出し、学連の運営に携わっています。また、選手以外の部員はオフィシャル(競技役員)として、全員が大会に参加しています。



集合写真



団体戦メンバー

3. 第59回 ACK・KIT 北九州ラリーの主催

JAF九州地域クラブ協議会の競技開催カレンダーの変更に伴い、ACK・KIT 北九州ラリーは、H28年シーズンよりJAF九州ラリー選手権/JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズに昇格となりました。第59回大会はシリーズ第7戦、SSラリー形式のデイラリーとして、2021年11月6日(土)、7日(日)に福岡県築上町において、37台の参加を頂き開催しました。



事前の林道清掃の様子



サービスパークの様子

4 北九州オートクラブ (ACK) が主催するラリーの準備と運営

1) 2021 ACK SPRING ラリー

5月に開催予定でした2021 ACK SPRINGラリーは、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期となり、7月17日(土)、18日(日)の2Dayで開催されました。自動車部員は、北九州オートクラブ(ACK)の主要メンバーとして、大会の事前準備および競技会運営全般を担当しました。

2) 恋の浦Rally challenge・オートテストの準備と運営

7月11日(日)に恋の浦Rally challenge及びオートテストを開催しました。恋の浦Rally challengeは九州のラリーを盛り上げるべく初心者の方にも参加しやすい競技会を開こうということで2019年から開催されることが決まった大会です。当部は大会の運営を行うと共に競技へも積極的に参加しました。部員全員で協力して運営を行い、無事終えることができました。また、オートテストも昨年に引き続き、ACKの方や他のJAFクラブの方の協力で開催することができました。



競技中の様子



表彰式の様子

<u>5</u> OB交流会

9月26日(土)にZoomを用いたOB交流会を行われました。オンラインでの開催にもかかわらず、3年ぶりの交流会ということで多くのOBの方々が参加されました。現役部員からの2020年度と2021年度前期の活動報告をさせていただきました。コロナ禍で部活動が制限されている中での活動ではありますが、多くのOBの方々の応援の言葉に励まされました。

6. 工大祭

11月20日(土)、21日(日)に行われた工大祭は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン・対面のハイブリット型での開催となりました。オンラインでは、自動車部PVを流しました。対面では、自動車部についてのポスターの展示を行いました。また、車庫で全九州学生秋季ダートトライアル大会のための整備を行い、見学会も同時に行いました。

在校生や学校関係者しか来場できなかったため見学者が少なかったですが、自動車部の活動をアピールする良い機会となりました。



7 日常の部活動

新型コロナウイルス感染症蔓延による緊急事態宣言発令の影響により部活動禁止令が発令された関係上、8月下旬から10月上旬までは車庫への立ち入りが禁止され、部活動を行うことが出来ませんでした。緊急事態宣言解除後に部活動再開申請を行い、感染対策を行いながらの部活動を再開することが出来ました。日常の部活動として、車庫前におけるフィギュア(自動車運転競技会)の練習、部車および部員車両の整備を行いました。活動日は月曜(18時~)と土曜(9時~)の週2日で、車庫の清掃や車庫前の草刈りなどを行い、車庫を気持ちよく利用できる環境管理も行っております。





部車の整備風景

8. オートポリスで行われるレース、

他クラブの主催するジムカーナ・ダートトライアル・

ラリー等のオフィシャル(競技役員)活動

例年、オートポリスサーキットの協力団体として、スーパー耐久、SUPER GT、およびゴールドカップレース等にオフィシャルとして参加しております。また、地元で開催された全日本ラリー、全日本ジムカーナ、全日本ダートトライアルや、他クラブ主催のジムカーナ、ダートトライアルの地区戦等にも、例年通りオフィシャルとして運営に協力しております。

9. JAF公認競技会への参加(個人)

2021年は原田(修士1年) がJMRC九州ジムカーナジュニアシリーズ B-FF2クラス、藤井(3年)がB-FF1クラスに参戦しました。また、JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ RH-3クラスに原田(修士1年、コドライバー)、柴田(3年、コドライバー)、猪熊(2年、コドライバー)、RH-5クラスとチャレンジシリーズ2クラスには、林(4回生、ドライバー)、藤井(3年、コドライバー)の5名が参戦しました。恋の浦Rally challenge・オートテストにも積極的に参加しました。



RH-3クラス 近藤(OB)/猪熊 組



RH-5クラス 林/藤井 組

2022年度自動車部活動計画

- 2022年 4月 · 新入生勧誘
 - ・ダートトライアル選考会兼練習会
 - ・体験入部(カート走行会)
 - 5月 ・全日本学生自動車連盟九州支部ダートトライアル選手権大会
 - ・2022 ACK SPRING ラリー 開催 (JAF 九州選手権第3戦、JMRC九州CHシリーズ第3戦)
 - ・ジムカーナ選考会兼練習会
 - 6月 ・全日本学生自動車連盟九州支部ジムカーナ選手権大会(春季)
 - ・新入生歓迎会
 - 8月 ・恋の浦 Rally Challenge・オートテスト開催
 - 9月 ・部内旅行
 - 10月 ・全日本学生自動車連盟九州支部ジムカーナ選手権大会(秋季)
 - 11月 · 工大祭 (大学祭)
 - ・第60回ACK・KIT北九州ラリー 開催予定
 - ・幹部交代式
 - 12月 ・学内マラソン大会
- 2023年 3月 ・追い出しコンパ

以上

第59回 ACK・KIT北九州ラリー詳報

第58代ラリー委員長 山本 (3年)

2021年11月6日及び11月7日に行われた第59回ACK・KIT北九州ラリーが無事終了いたし ましたので報告します。

今年は前幹部や新入生、OBの方々のラリー運営への協力により、特に大きな問題もな くスムーズに準備を進めることができました。大人の方々との事前のミーティングなどに より、部員だけに限らずACK全体で協力することで、より良いラリー運営を行うことがで きたのではないかと思います。

今年は台風と大雨によって、元々使用する予定だったみやこ町の林道が崩れて使えなく なってしまったため、築上郡築上町の林道中川内線・真如寺線の二つの林道を用いて、2 日間の大会を開催させていただくことになりました。

KITラリーは、3年前からSS(スペシャルステージ)主体のTCラリー(タイムコントロー ルラリー)として開催しており、JAF九州ラリー選手権第7戦、JMRC九州ラリー チャンピオンシリーズ第7戦、 JMR C九州ラリーチャレンジシリーズ第7戦として開催 いたしました。

今年も有り難いことに約40台の参加が集まりました。去年と同じようにRH-5クラス(AT限定のラリー車両、EV・HV車両)にもたくさんのエントラントが集まり、九州のラ リーが盛り上がりつつあることを肌で感じました。

当日は天候もよく、大きな事故なく無事に競技の進行をすることができました。

新しい林道を使うこと、2つの林道を使うことなどによって、オフィシャルの動きやタ イムスケジュール作成などが難しかった分反省点も多くありますが、無事に開催すること ができ、安心しております。徳尾慶太郎さんをはじめとするACKの皆様並びにOBの皆様 のご協力により、開催することが出来ました。関係者皆様に心より御礼申し上げます。

来年で第60回となります。次回も今回と同じ築上町での開催を予定しております。今年 の反省を生かしつつ、皆様に満足して頂けるようなラリーを作りますので、今後とも皆様 どうぞよろしくお願い致します。



サービスパークの様子



SSを走行中の部員(dr.林 co.藤井

2021年9月26日 現役・OB交流会 報告

原田 (修士1年)

新型コロナウイルスの蔓延により、昨年度開催が延期された現役・OB交流会が今年9月 26日にzoomを用いたオンラインで行われました。

交流会ではまず、OB、現役双方の自己紹介を行いました。OBの方の参加者は恐らく20 名前後であったと思いますが、毎度の事ながらその年齢層の厚さに驚かされ、自動車部の 歴史の長さに気付かされました。また、OBの方々の各地でのご活躍を伺うことができま した。

次に、パワーポイントを使用した2020年3月から2021年8月にかけての活動報告と、 YouTube上のPV動画を紹介させていただきました。

(自動車部PV→https://www.youtube.com/watch?v=mCfGUES-ncY)

その後の質疑応答の時間ではOBの方々からも活動についての様々な質問やご意見を頂 き、約1時間半という短い時間ではありましたが、とても有意義な時間を過ごすことがで きました。ありがとうございました。

今回の交流会ではオンライン開催という理由から、例年のような懇親会やイベントなど はありませんでした。感染症が収束し、再びOBの方々にお会いできることを楽しみにし ております。今後もOBの皆様のご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

以下 活動報告スライド一部

2.2021年度前期活動報告

◎2021年度前期スケジュール

4月 部活動紹介(オンライン) 2021年

5月 車両展示

2021 ACK SPRING ラリー延期

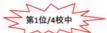
- 6月 全九州学生春季ジムカーナ
- 7月 恋の浦 Rally Challenge・オートテスト主催(ACK) 2021 ACK SPRING ラリー主催

2.2021年度前期活動報告

全九州春季ジムカーナ 団体戦







3. 近年のラリー主催報告

5月 2019 ACK SPRING ラリー

8月 恋の浦 Rally Challenge Part.2・オートテスト主催 (ACK)

11月 第57回 ACK・KIT北九州ラリー

2020年 5月 2020 ACK SPRING ラリー (中止)

8月 恋の浦 Rally Challenge Part.2・オートテスト主催 (ACK)

10月 第58回 ACK・KIT北九州ラリー

7月 恋の浦 Rally Challenge・オートテスト主催 (ACK) 2021 ACK SPRING ラリー

11月 第58回 ACK・KIT北九州ラリー

4. 今後の活動について

活動予定

11月 第59回ACK・KIT北九州ラリー、 全九州秋季学生ダートトライアル大会

12月 幹部交代式

3月 追い出しコンバ





しかし... 緊急事態宣言下では集合しての部活動は禁止 学生大会開催が開催されるかも不透明

現役支援サポート隊の取り組みについて

現役交流担当 山下 (H1)

今期の実施内容(2020(R2)年10月~2021(R3)年9月)⇒結果報告

- ①第59回 ACK-KIT Kitakyushu Rally準備の支援 ※開催日 2021 (R3) 年11月6-7日
 - ・コースおよび問題の監修
 - ⇒2021年9月より実施(R2河本、H24石原、他)
 - · 官公庁届出対応
 - ⇒2021年9月より実施 (S59小川、他)
- ②新入生勧誘のフォロー
 - ・展示車両の手配、貸し出し。
 - ⇒現役部員の車両を展示。貸し出しは行わず。
- ③競技参加支援
 - ・活動援助金制度の運用 (H26年7月より運用開始)
 - ⇒R3.3.27-28 九州ラリー選手権第1戦MCA

(河本(OB)/柴田、近藤(OB)/藤井、林/山本)

- ⇒R3.6.26 全九州春期学生ジムカーナ大会(選手・応援者合計15名)
- ⇒R3.7.17-18 九州ラリー選手権第3戦ACK (河本(OB)/柴田、横手(OB)/原田、林/藤井)
- ④日常練習の活性化
 - ・ラリーオフィシャル勉強会の開催
 - ⇒R2河本主導で適宜実施。
- ⑤ 親睦行事
 - ・餅つき会(2020(R2)年12月30日)
 - ⇒参加者: H1山下、H1永渕、H22北垣、H23岩本、H24石原、H25飯田、R2河本 他
 - ·現役·OB交流会開催
 - ⇒2021年9月26日オンラインミーティング形式で実施。現役8名、OB15名参加。
- ⑥卒業生のフォロー
 - ・追出しコンパ
 - ⇒コロナ禍のため中止。
 - ・卒業後の連絡先の把握と各支部幹事への連絡

⇒ 渡邉

就職先:リョービ(株)

⇒ 横手

就職先:トヨタ自動車九州(株)

⇒ 原田

進学先:九州工業大学大学院

- ⑦休眠OBの掘起し
 - ・現役・OB交流会への参加勧誘
 - ⇒OB会役員以外に平成世代を中心にメール発信。

以上

今期の計画 (2021 (R3) 年10月~2022 (R4) 年9月) ⇒結果報告 (一部)

- ①第59回 ACK-KIT Kitakyushu Rally準備の支援/当日支援(2021(R3)年11月6-7日開催)
 - ・事前案内
 - ⇒オフィシャル連絡名簿を用いて現役部員より個別に電話連絡実施 現役-OBでオフィシャル連絡名簿のメンテナンスを実施
 - ・募集
 - ⇒オフィシャル連絡名簿を用いて現役部員より個別に電話連絡実施
 - ・最終確認とスケジュール連絡
 - ⇒現役主導で前日ミーティングを実施
 - ※当日支援(S58高橋、S59小川、H1山下、H1永渕、H9森若 H22北垣、H23岩本、福田、重富、H31有川、R2河本、R2川野、H17大庭、H17犬丸、H24石原、H29近藤、R3横手、他)
- ②第60回 ACK-KIT Kitakyushu Rally準備の支援(※開催日:2022年11月予定)
 - ・コースおよび問題の監修
 - · 官公庁届出対応
- ③ 競技参加支援
 - ・活動援助金制度の運用(H26年7月より運用開始)
- ④ 日常練習の活性化
 - ・ラリーオフィシャル勉強会の開催
- ⑤ 親睦行事
 - ・餅つき会(2021(R3)年12月30日)
- ⑥ 卒業生のフォロー
 - ・追出しコンパ
 - ・卒業後の連絡先の把握と各支部幹事への連絡
- ⑦休眠OBの掘起し
 - ・メールアドレスの確認

以上

2021年度OB会部活動援助費 会計報告

九州工業大学 自動車部 会計 豊村

収入	金額	支出 支出	1~R03.09.30
	並領		金額
前期繰越	_	競技会出場援助費	+
R02.10.01 受取利子	_	・R02.10.3-4ラリー選手権 2名	_
R02.12.29 OB会部活動援助費	_	・R02.11.17-18ラリー選手権2名	
R03.04.01 受取利子	_	・R03.03.27-28ラリー選手権 6名	
R03.07.03 OB会部活動援助費		・R03.07.17-18ラリー選手権 6名	
		・R03.06.26全九ジムカーナ 15名	
		小計	
1 7		残高	
		724174	_
			+
			_
		小計	+
合 計		合 計	+

貯金通帳残高および支出記録に相違無いことを確認いたしました。

2021年11月15日

明専·九工大自動車部 OB会 現役支援担当 山下

現役・OB交流会2021オンライン開催!

現役交流担当 山下 (金H1)

現役-OB交流会は本来、昨年の予定でしたが、新型コロナウイルスの蔓延と感染対策により、開催を延期しておりました。しかし、新型コロナウイルス禍の収束の見通しが立たないなか、オンラインサービスも充実してきたことから新しい試みとして、ビデオミーティングシステムのZoomを利用したオンラインでの交流会を開催しました。

交流会には、現役部員8名、OB15名の計23名に夫々の居住地から参加していただきました。会は、各人の自己紹介のあと、現役からこの2年間の活動報告をパワーポイントの画面を共有しながらプレゼンテーションしてもらいました。また、新入生勧誘用のプロモーションビデオも上映し、全員に観賞していただきました。

OBからは自身の現役時代の思い出も交え、たくさんの質問が寄せられ、現役の回答に聞き入っておられました。また、OBから会の活動の一つとしてOBの講演活動が提案され、実現に向けて現役・OB双方が取り組むことを確認しました。

今回初めての試みでしたが15名ものOBの参加をいただきました。対面の交流会とは違って、開催地(北九州)まで出掛ける必要がないことで、手軽に参加できたのではないかと思います。告知が直前になるなど、運営に関して多少の不手際がありましたが、当日の出席者の皆さんのおかげで無事開催することが出来ました。ありがとうございました。

今後もオンラインの利点を利用した企画を考えていきたいと思います。

$\exists (日) 14:00~15$: 30		
(M1) 、長森	(M1) 、藤井	(主将	3)
(ラリー	3)、豊村 (会	計 4)	
(主務 3)、	平島(車庫	3)	
(4年)			
(R3)、河本	(R2) 、近藤 (H29中退)	
(H29)、山下	(H1) 、小川	(S63)	
(S55) 、坂井	(S52)、武地	(S51)	
(S50) 、河野	(S49) 、高見	(S48)	
(S46)、八木	(S45) 、伊東	(S44)	
	(M1)、長森 (ラリー (主務 3)、 (4年) (R3)、河本 (H29)、山下 (S55)、坂井 (S50)、河野	(主務 3)、平島 (車庫 (4年) (R3)、河本 (R2)、近藤 ((H29)、山下 (H1)、小川 (S55)、坂井 (S52)、武地 (S50)、河野 (S49)、高見	(M1)、長森 (M1)、藤井 (主将 (ラリー 3)、豊村 (会計 4) (主務 3)、平島 (車庫 3) (4年) (R2)、近藤 (H29中退) (H29)、山下 (H1)、小川 (S63) (S55)、坂井 (S52)、武地 (S51) (S50)、河野 (S49)、高見 (S48)

2021年度活動報告(R2/10-R3/9)

OB会 事務局 中西 (50)

【上期活!	動実績】	(敬称课各)
令和2年		:【役員会-KITAC】 第1回オンライン役員会 (Zoom練習会、中四国(仮称)地区開設 他)
77 712-4-	10/10	(昼の部): (佐藤 s46、川越s47、河野s49、山崎s49、中西s50、武地s51、近藤s54、山下h1 計8名)
	10/17	(夜の部): (伊東 s44、田中s45、河野s49、中西s50 計4名) :【役員会-KITAC】第2回オンライン役員会(前回メール役員会の続き)
	10/17	
		今後の自動車部 OB会のあり方
		【B】これまでの役員会に取り上げられ、「残された課題」(テーマ9件)
		【C】会計処理上で抽出された個別問題(テーマ2件)
		⇒【C】テーマは、10/24の第3回オンライン役員会で討議、審議 (Park Mark 12 作売 12 元 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12
	10/04	(伊東s44、山本s46、佐藤s46、河野s49、山崎s49、中西s50、西s50、武地s51、近藤s54、山下h1 計10名)
	10/24	:【役員会-KITAC】 第3回オンライン役員会
		定例の「期末活動実績・次期計画」、「期末会計決算・次期予算・監査」
		及び「上期、期末現役支援活動実績・次期計画」の審議 10/17の【C】テーマ2件を合せて討議、審議
	10/91 11/1	(佐藤s46、川越s47、河野s49、山崎s49、中西s50、武地s51、早田s54、近藤s54、山下h1 計9名) :第58回ACK-KIT Kitakyusyu Rally 現役支援
	12/5	
	12/0	:【役員会-KITAC】 第4回オンライン役員会
		議題①:【B】テーマ9件の内の下記3件
		No.7「KIT-Formula応援団参画によるKITAC-OB会員の連携」、
		No.8「現役支援・交流のあり方」及びNo.9「メーリングリストの活用オープン化」
		議題②:中四国(仮称)地区 OB会組織拡大計画次ステップへ討議、協議
		(伊東s44、山本s46、佐藤s46、川越s47、河野s49、山崎s49、西s50、中西s50、早田s54、山下h1、
		八木s45、長尾s48、河本r1 計13名)
	12/20	:流星32号発行(早田s54)
	12/29	:部活動援助費令和2年度下期分(R2.4.1~R29.30カンパ分)一括送金⇒OB会会計から13,000円(武地s51)
	12/30	:餅つき会(現役との交流) 徳尾モータースにて実施
令和3年	1/16	: KITAC-OB会(中京地区) オンライン新年会/協議会「自動車部OB会総会に向けて」
		(川越s47、河野s49、溝尻s50、西s50、中西s50、永田s52、坂田s54、近藤s54、小川s63 計9名)
	1/23	:KITAC-OB会(関西地区主催中四国地区合同) オンライン新年会
		(関西 :木庭s43、田中s45、山崎s49、中西s50、孝橋s55、三好s62 小計6名)
	1/30	(中四国: 嘉村 s33、尾崎s42、八木s45、長尾s48、河本rl 小計5名) (計11名) :KITAC-OB会(関東地区) オンライン新年会
	1.00	(木田s40、中野s46、佐藤s46、武地s51、坂井s52、早田s54、槙本s54、太田s55、網田s55、津曲s59 計10名)
【下期活!	船宝線1	(荀文标准各)
令和3年		:KITAC-OB会(中京地区) オンライン協議会 「自動車部OB会総会に向けて」
II THO T		(川越s47、河野s49、溝尻s50、西s50、中西s50、永田s52、坂田s54、近藤s54、御領s63、小川s63 計10名)
	5/14	:【オンライン役員会(KITAC-OB会)】「第11回 OB会定例総会開催方法」、
		「総会(書面審議)議案について」及び「その他検討事項」の協議、審議の件
		(伊東s44、八木s45、中野s46、佐藤s46、川越s47、長尾s48、河野s49、山崎s49、中西s50、西s50、武地s51、
		坂井s52、近藤s54、孝橋s55) (山本s46: 欠席/ 贊否回答意見·委任有) 計 15名
	5/25	:【役員会-KITAC】「令和3年度活動報告(上期)、会計報告(上期)及び
	5/27	(メール役員会) 現役支援金決算報告(上期)」審議の件」
	5/21	:中京地区主催の「令和3年(第 11回) OB会 定例総会 延期に関するお知らせ」配信 5地区から地区単位で全会員へ延期のお知らせ配信(6月から7月)
	7/3	: 部活動援助費令和3年度上期分(R2.10.1~R3.3.31カンパ分) 一括送金 ⇒OB会会計から 89,500円(武地s51)
	7/17	:【中京地区】【7/17 オンライン協議会(兼飲み会) の開催案内】 OB会総会に向けて
		(川越s47、河野s49、溝尻s50、西s50、中西s50、永田s52、坂田s54、近藤s54、小川s63 計9名)
	9/26	:第7回(令和2年度開催延期分) 現役交流会(オンライン zoomにて) 開催
		【OB】 (伊東s44、八木s45、佐藤s46、高見s48、河野s49、中西s50、武地s51、坂井s52、孝橋s55、小川s63、
		山下h1、穴井h28、近藤r1、河本r1、横手r3 計15名)

【現役】 (原田m1、藤井3、山本3、豊村4、宇野4、柴田3、平島3、長森m1、計8名)

2021(R3)年度 OB会決算報告

OB会会計 武地 (: 51)

- 1 期間; 2020年10月1日から2021年9月30日
- 2 主たる活動(事務局報告ご参照方)
 - ・12月に流星32号を発行した。
 - ・第11回OB会総会はコロナ蔓延の影響で来年度に延期になった。
 - ・現役交流会は、リモートで実施した。
- 3 決算概要
 - ・【収入】会員各位からの振込み(会費、部活動援助費、 OB会カンパの計)は、 円。 年度予算 円の 。振込者数 名と低迷。
 - ・【支出】現役交流会は、リモート会議で実施し、予算は使用せず。
 - ・【支出】OB会総会延期に伴い、準備金、現役交通費補助の予算は使用せず。
 - ·【支出】流星印刷·発送費は予算内で実行済み。
 - ・【支出】現役部活動援助費は、

は21年7月3日に現役口座に振込済み。

決算承認後残金 円を現役に送金予定。同上前年度残金 円を2020/12/29に 現役に送金した。

・【単年度採算・繰越】予算時は、単年度 円 で計画したが、OB会総会などの中止

2020年10月1日~2021年9月30日

収入	金額	支出	金額
2020年度から繰越		振替手数料 e	
会費 a		現役交流費	
部活動援助費 b		OB 会総会準備費	
OB会カンパ c		流星32号印刷費 f	
部活動援助費(前年度未払い分) d		同 郵送代 g	
		事務費、通信費 h	
		部活動援助費 i	
		部活動援助費(前年度未払い分) j	
[会員からの振込み小計 a+b+c]		OB会総会現役出席交通費援助	
[収入小計a+b+c+d]		〔費用小計 e+f+g+h+i+j〕	
		2022年度への繰越	
合 計		合 計	

(参考)2021年度予算(承認済み額)

収入	金額	支出	金額
2020年度から繰越		振替手数料	
会費		現役交流費	
現役部活動援助費		OB会総会準備費用	
OB会カンパ		流星印刷費	
		同 郵送代	
		事務費、通信費	
		現役部活動援助費	
		現役のOB会総会出席補助	
[本年度収入小計]		〔費用小計〕	
		2021年度への繰越	
小計		小計	

会計監查報告書

令和 3年10月 4日

明專·九州工大自動車部OB会

会長伊東殿

令和 3年10月 4日 明専・九州工大自動車部OB会会計に関する帳票・領収書などを精査しました。その結果令和3年度の決算報告については、適法・適正に処理されていることを確認しました。

以上報告いたします。

会計監查 田 中

2022年度活動計画(R3/10-R4/9)

事務局 中西 (50)

【上期活動計画(実績含む)】 (敬称略)

令和3年 10/5 :【遠隔役員会-KITAC-OB会】「臨時書面審議総会」開催の件

(伊東s44、山本s46、佐藤s46、川越s47、河野s49、山崎s49、中西s50、西s50、武地s51、

坂井s52、早田s54、孝橋s55、山下h1 計13名)(委任欠:田中s45、八木s45、長尾s48)

10/上 :「臨時書面審議総会」開催通知発送

10/中 : 部活動援助費令和3年度下期分(R3.4.1~R3..9.30カンパ分)一括送金

⇒ OB会会計から14,000円予定(武地s51)

10/16 :【中京地区】中京地区主催 第11回OB会総会の第1回準備委員会開催

場所:デンソー Dスクエアにて現地開催

11/6-11/7 : 第59回ACK・KIT北九州ラリー2021 現役支援

:流星33号発行(早田s54)

11/中 :【遠隔役員会-KITAC-OB会】「臨時書面審議総会」審議結果報告の件

12/30 : 餅つき会(現役との交流) 徳尾モータースにて実施

1/上-下 :各地区新年会等 開催予定 (5地区ZOOM 他 開催予定)

1/中 : 【中京地区】中京地区主催 第11回OB会総会の第2回準備委員会開催

【下期活動計画】 (敬称略)

12/中

令和4年

令和4年

4/中 :【遠隔役員会-KITAC-OB会】「令和4年度 活動報告(上期)、会計報告(上期)

及び現役支援活動・支援金決算報告(上期)審議の件」

4/下 : 部活動援助費令和 4年度上期分(R3.10.1~R4.3.31カンパ分)一括送金

	⑩-1【令和3年10月8日以降】 役員 R2/1/19メール役員会での承認 R3/10/8 臨時書面審議総会での承認		⑩-2【令和3年10月8日以降】 R2/10/10 オンライン役員会での承認 R3/10/8 臨時書面審議総会での承認				⑩-3【令和3年10月8日以降】 R2/12/1メール役員会での承認 R3/10/8 臨時書面審議総会での承認						
	会長	伊東	(-	44)	留	伊東	(44)	留	伊東	(.	44)	留
	副会長	河野	(49)	留	河野	(49)	留	河野	(49)	留
	副会長		\top				\top						
	幹事	山本	(-	46)	留	山本	(46)	留	山本	(4	46)	留
九州	副幹事	犬丸	(H17)	留	犬丸	(H17)	留	犬丸	(H	117)	留
	副幹事												
中	幹事					八木	1.00	45)	新	八木	(45)	留
四	副幹事					長尾		48)	新	長尾	(48)	留
国	副幹事					河本		R1)	新	河本	(R1)	留
	幹事	山崎	(49)	留	山崎	(49)	留	山崎	(49)	留
関西	副幹事	三好	(62)	留	三好	(62)	留	三好	(62)	留
	副幹事	孝橋	(55)	留	孝橋	(55)	留	孝橋	(55)	留
	幹事	川越	(47)	留	川越	(47)	留	川越	(47)	留
中京	副幹事	西	(50)	留	西	(50)	留	西:	()	50)	留
"	副幹事		T										
	幹事	中野	1	46)	新	中野	(46)	留	中野	(-	46)	留
関	副幹事	坂井	(52)	留	坂井	(52)	留	坂井	(;	52)	留
東	副幹事	佐藤	(46)	留	佐藤	(46)	留	佐藤	()	46)	留
	副幹事		\top										
	事務局	中西	1	50)	留	中西	(50)	留	中西	(50)	留
	会計	武地	(51)	留	武地	(51)	留	武地	(;	51)	留
4	会計監査	田中	1	45)	留	田中	(45)	留	田中	(45)	留
4	会誌担当	早田	(54)	留	早田	(54)	留	早田	(54)	留
伞	名簿担当	松元	(55)	留	松元	(55)	留	松元	(55)	留
年	名簿担当	西原	(54)	留	西原	(54)	留	(中西	()	50)	_
現後	投交流担当	山下	(H1)	留	山下	(H1)	留	山下	(: F	H1)	留
現後	设交流担当												
I	HP担当	近藤	(54)	留	近藤	(54)	留	近藤	(54)	留
内	7容•理由	. 理由		副幹事 認。 5) 48) R1)	2名)が 設によ	が主体に、事務局の中西(50)が一緒に後継。 【理由】 名簿管理の仕組み作りは終了し、共有化され利用できるようになった。役員としての責務は果たしたので、これを機に役員を辞したい旨、申し入れがあった。事業局メール受理。			奪担が ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・				

2022年度予算

会計 武地 (51)

(円)

- 1. 期間; 2021年10月1日~2022年9月30日
- 2. 予定行事

2022年秋 第11回OB会総会、・懇親会(中京)、2021年実施計画が延期された。

2021年12月 流星33号発行

3. 予算(案)

収入	金額	支出	金額
2021年度から繰越		振替手数料	
会費		現役交流費補助	-
現役部活動援助費		OB会総会準備費用	
OB会カンパ		流星印刷費	
		同 郵送代	
		事務費、通信費	Г
		現役部活動援助費	
		現役のOB会総会出席補助	Γ
[本年度収入小計]		〔費用小計〕	
		2023年度への繰越	
合計		合計	Γ

繰越金増加

説明(下表の過去実績参照方)

【収入の部】

- ●今年度から会費は、毎年 集金前提。偶数年平均振込者人数約
- •現役部活動援助費(収入);過去偶数年平均実績。
- OB会カンパ:同上。

【支出の部】

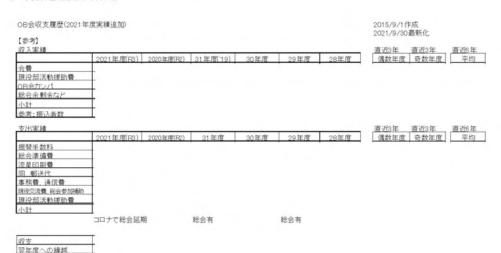
- ・振替手数料;郵貯銀行の手数料が高くなった後の 2020年度実績並み。*参考振替手数料;19/4/1からATM振込152円/件、窓口振込203円/件←従来各々80円、130円。
- ●OB会総会準備費; 2022秋実施に延期。規定の
- •流星発行費用;流星32号実績並み。
- ●事務費、通信費;平均並み。
- ●現役のOB会総会参加補助: 2022秋実施に延期。規定=中京地区まで往復新幹線指定席1名分。

【単年度収支】

単年度赤字は、会費の毎年

化の影響。来年度リカバリの想定。

参考;繰越金変動(右図)



2021年度(R2/10-R3/9) OB会会費、部活動援助費、OB会カンパ 振込状況

主題の件につきまして、会員の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

OB会会費は2年に一度(今年度からは毎年

)、その他は毎年募集しています。

会費欄「済」は、昨年度にお支払いいただいたことを示します。

FINE DELATE THE TAX TH	No	口座月日	科	年	氏	名	会費	部活援助費	OB会へ
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	------	---	---	---	---	----	-------	------

第11回OB会総会開催について

中京地区幹事 川越 (47)

第11回OB会総会(懇親会)は中京地区の担当であり、2021年開催の予定でしたが、コロナの感染者数の増加により、延期とさせて頂きました。コロナの感染者数は8月末には1日あたり25,000人でしたが、急激に減少し11月になり200人で落ち着いてきました。入場制限などの制約もかなり緩和され少しづつ元に戻りつつあるようです。

中京地区では改めて準備委員会のキックオフ会議を10月16日に行い、その後11月13日に 2回目の会議をZoom利用のオンライン会議を実施しました。この後毎月オンラインをメイ ンとした会議をやっていく予定です。

2回目の会議には平成28年卒の穴井さんが加わり(従来は昭和のみ)、若い世代の考えが聞けなるほどと思うことがあり、参考になります。穴井さんの他 同じく平成卒の山端さんも参加予定です。若者の加入、嬉しい限りです。

今は総会の日時や場所等のアイデアを出した段階ですが、今後さらにアイデアを出すと共にそれらを検討して"良かった"と言っていただけるようなものにしたいと思います。

総会の実施についてはコロナが収まり、政府や一般の会社も会社が認可、安心して参加できる状況になることが必須であると考えております。来年度の開催の可否は今後のコロナの感染状況や政府の判断等を参考にして4月に決定する予定です。時期は10月~11月とし、KITナイトラリーやWRC JAPANの日程等を考慮して決めていきます。

まだまだコロナは安心できる状況ではありません。日頃気を配って感染しないように留意し、みんな元気で総会でお会いいたしましょう。

「臨時書面審議総会」の結果ご報告及びお願い

事務局 中西 (50)

先般実施の臨時書面審議総会の書面審議に対応していただき誠にありがとうございました。2021年10月8日に開始いたしましたOB会総会書面審議につきまして、次の通りご報告いたします。

【書面審議議案】

添付の別紙「臨時書面審議総会」の議案(2021年10月8日付)の通り、第1号議案〜第7号 議案(全7議案)についてご審議いただきました。

●有効会員数:66名(注1)

●返信会員数:39名

(注1) : 通常会員(前期内に会費類を納入された方73名)の内、審議書面通知完了人数。 【総会成立要件の確認】

(返信会員数/有効会員数) =39/66(約59%) で会則の「通常会員の過半数(委任状を含む)で成立」を満足し、審議総会は成立。(添付の会則ご参照)

【書面審議結果】

●賛成 : 36名 (注2)

●反対 : 第2号議案「OB会費等の毎年徴収方法への変更」について1名

第5号議案「役員人事案」について1名

●未回答:第1号議案「遠隔で行う会議を追加」について2名

第2号議案「OB会費等の毎年徴収方法への変更」について1名

第3号議案「中四国地区開設」について1名

第4号議案「会長・副会長の任期制限」について1名

第6号議案「OB会活動報告・会計報告・会計監査報告(令和2、3年度)」に

ついて2名

第7号議案「OB会活動計画案・会計計画案(令和4年度)」について2名

(注2) :3名の方からそれぞれ個別議案へ回答があり、有効会員数から3名を除いた、 全7議案に賛成の方々の人数。

(賛成/返信会員数) =36/39(約92%) で会則の「出席者の過半数(委任状を含む)の 賛成をもって議決」を満足。(添付の会則ご参照)

以上から今回の書面審議議案は賛成多数で全7議案「可決」いたしました。

従って、本年度、令和4年度(2022年度)から、OB会費等は毎年徴収方法へ変更となりますので、皆様のさらなるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

また、中四国地区の開設により、OB会の拡大と中四国地区の交流強化、さらには九州、中京、関東及び関西地区を含めた5地区にて、それぞれ活動強化を図って参りますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

尚、次回以降の定例総会の開催予定ですが、来年2022年の秋に中京地区主催の第11回定 例総会を、その2年後の2024年の秋には、中四国地区主催の定例総会を開催することが役員 会で決まっておりますので、会員の皆様におかれましてはご期待いただきたく存じます。

以上

<u> </u>							
議案	審議事項 						
【会則改正を伴う議案】	下記の第1号議案、第2号議案、第3号議案及び第 4 号議案に関わる部分について改正を行う。(別紙 "OB 会会則" の通り)						
第1号議案 「遠隔(書面でのものを含む)会議の箇条を追加」	(改正前) 会則第9条 「条項なし」本会の 会議は、総会、地区 部会、役員会とし、 それぞれ、通常会員 の過半数(委任状を含 む)で成立する。	(改正後) 会則第9条 「条項なし」本会の会議 は、総会、地区部会、役 員会とし、それぞれ、通 常会員の過半数(委任状 を含む)で成立する。 2 会議は現地、或いは遠 隔(書面でのものを含む) で行うものとする。	(事由) 遠隔(書面でのものを含む)で行う会議を追加				
第2号議案 「OB 会費等の毎年徴収 方法への変更」	(改正前) 会則第 12 条 「会費は1年分1,000 円とし <u>2年分 2,000円</u> を原則として振替口 座にて徴収する。」	(事由) ・会費納入者は、忘れることなく、毎年意識して納入出来る。 ・会計業務の簡素化を総合的に図る。					
第3号議案 「中四国地区開設」	(改正前) 会則第 14 条 「本会は地区部会を 九州、関東、中京、 関西に設置する。」	(改正後) 会則第 14 条 「本会は地区部会を九 州、関東、中京、関西 <u>、</u> 中四国に設置する。」	(事由) ・中国(広島山口他)地区 の開設による組織拡大。 ・分散交流による中国 区の交流強化。				
第4号議案 「会長・副会長の任期 制限」	(改正前) 会則第8条1 「上記役員の任期は 2年とする。ただし重 任、兼任を妨げな い。」	8条1 会則第8条1 会長、副会長の任 役員の任期は 「上記役員の任期は2年 による組織の刷新 する。ただし重 とする。ただし重任、兼					
【運営上の定例議案】	下記の第5号議案、第(別紙資料の通り)	語 6 号議案及び第 7 号議案に	関わる審議事項の承認。				
第5号議案 「役員人事案」の承認 (前回定例総会以降の役 員会承認分3件) (資料:役員人事(案)参照)	1 「関東地区幹事退任・交代」 世代交代の一環で宮崎 幹事(39)が幹事を退任し、中野 副幹事(46)に幹事を交代。 2 「中四国地区幹事候補(地区幹事 1 名、副幹事 2 名)承認」・幹事:八木 (45)・副幹事:長尾 (48)・副幹事:河本 (R1) 3 「名簿担当役員退任・後継」西原 名簿担当(54)が名簿担当を退任し、従前より担当の松元 名簿担当が主体に、事務局の中西(50)が一緒に後継。						
第6号議案 「OB 会活動報告」、「会 計報告」及び「会計監査 報告」の承認	令和 2 年度/令和 3 年度の「OB 会活動報告」、「会計報告」及び「会計監査報告」 (資料:各期末の活動報告・会計報告・会計監査報告参照)						
第7号議案 「OB 会活動計画案」、 「会計計画案」の承認		舌動計画案」、「会計計画第 計画案・会計計画案参照)	₹1				

明専·九州工業大学自動車部OB会会則(承認版)

第1章 総 則

- 第 1条 本会は明専・九州工業大学自動車部OB会と 称し本部を会計役員宅に置く。
- 第 2条 本会は自動車部OBを主体とし、会員相互の 扶助親睦を図るとともに、現役自動車部の発展に 寄与することを目的とする。
- 第 3条 本会は前条の目的達成の為、次の事業を行う。 ①会員総会 ②地区部会 ③現役部員との交歓 会④自動車部への援助 ⑤その他
- 第 4条 本会は次の会員をもって構成する。
 - ①通常会員 自動車部OBで会費を納入したもの。 ②特別会員 部長、顧問、参与で役員会が要請 し受諾を得たもの。
 - ③賛助会員 同部に協力するもので、役員会によって推薦し総会で承認されたもの。
 - ④準会員 会費は未納だが、各種案内に回答があったもの。

第2章 役 員

- 第 5条 本会は次の役員及び顧問を置く。
 - ①会長 1名 ②副会長若干名 ③幹事(地区幹事·副幹事)若干名 ④事務局·会計 若干名
 - ⑤担当役員若干名 ⑥会計監査1名 及び顧問 若干名
- 第 6条 前条の役員は、通常会員中より前期役員会に よって推薦し総会で承認を得る。
- 第7条 会長は本会を代表し、凡つ会務を総括する。
 - 2 副会長は会長を補佐し、会長不在の際はその職務を代行する。
 - 3 幹事、担当役員は予算決算、その他会務を審 議執行する。
- 第 8条 上記役員の任期は2年とする。ただし重任、兼任を妨げないが、会長、副会長については、3 期 (最大6年)までとする。
 - 2 役員は原則として次期候補を推薦した後、退任するものとする。

第3章 会 議

- 第 9条 本会の会議は、総会、地区部会、役員会とし、 それぞれ、通常会員の過半数(委任状を含む)で 成立する。
 - 2 会議は現地、或いは遠隔(書面でのものを含む)で行うものとする。
- 第10条 会議の議決は出席者の過半数(委任状を含む) の賛成をもってする。
 - 2 総会は、本会最高の議決機関で会長がこれを召集する。
 - ①定例総会
 - ②会員の5分の1以上の要求があったとき
 - ③会長が必要と認めたとき

第4章 会 計

- 第11条 本会の経費は会費及び寄付金をもってこれに あてる。
- 第12条 会費は1年分 1,000 円とし**、毎年 1,000 円**を原 則として振替口座にて徴収する。
- 第13条 本会の会計年度は10月 1 日に始め翌年の9 月30日に終了する。

第5章 地区部会

- 第14条 本会は地区部会を九州、関東、中京、関西<u>中</u> 四国に設置する。
 - 2 その他の地区部会は本会に届けて設置することができる。
- 第15条 地区部会における役員・細則は、地区の会合 によってそれぞれ定めることとする。
 - 2 地区幹事は本部役員との兼任を妨げない。地区役員の異動はその都度本部に通知するものとする。

第6章 補 則

- 第 16 条 本会会則の改正は役員会で審議の上総会で 承認を得る。
 - 2 定例総会は隔年毎に開催する。
- 第 17 条 会員は住所氏名、電話番号などに変更があったときは直ちに本部に連絡するものとする。
 - 2 会員は本人及び他の会員の移動、名簿の誤記、欠落など本部に通知するものとする。
- 第18条 本会は年に1回ないし2回、会報「流星」を発行 し、会員、準会員に配布する。
- 第19条 本会則に定めの無い事項は、必要に応じて運 営細則等を別途定める。

附 則

- (1)本会会則は昭和 41 年1月 26 日から有効とする。
- (2)本会会則は平成15年11月23日改正施行する。
- (3)本会会則は平成19年10月20日改正施行する。
- (4)本会会則は平成23年10月22日改正施行する。
- (5)本会会則は平成27年9月26日改正施行する。
- (6) 本会会則は令和 3年11月20日改正施行する。

会費振込に関する変更のお知らせ

会計 武地 (51)

自動車部OBの皆様には、平素からOB会の活動にご理解とご協力頂き大変有難うございます。昨年流星32号(20頁)で事前にお知らせのとおり、会費納入失念防止(下記*参照)と会計業務簡素化を目的として振込方法の見直しを検討していましたが、この度、役員会と10月8日付け臨時書面審議総会において、「22年度(2021年10月)から、会費を毎年 納入頂く事に変更すること」が承認されました。

*;2年に一度の支払いでは、支払い済みかどうかわからなくなる。

つきましては、下記の通り変更内容と、合わせてお願い事項をご連絡しますので、各位には、振込のお手数が増え申し訳ありませんが、従前以上にご理解とご協力をいただきたく、よろしくお願いします。了

記

1. 変更の内容(会則第12条の変更)

(改正前) 会費は1年分 円とし、**2年分** <u>円を</u>原則として振替口座にて 徴収する。

(改正後) 会費は1年分 円とし、**毎年 円を**原則として振替口座にて 徴収する。

(事由)・会費納入者は、毎年を意識して、忘れることなくまた重複なく納入出来る。 ・会計業務の簡素化(納入額の変動が減り管理しやすい。払込票が一種類で 済むなど)。

2. お願い

OB会会計の状況は、毎年流星にてご報告の通り、皆様のご協力のおかげで、現役部活動支援、会員相互親睦(流星〈=部誌〉発行、親睦会、総会の開催)などの活動を実施しています。一方で、賛助いただいている会員数は頭打ちで、社会状況と同様高齢層が多く、中若年層の賛同は低迷しています。現役部活動の支援など現状の活動を今後も維持、強化するには、下図の通り、平成以降の卒業者の一層の参画が必須です。

つきましては、以下につきご高配賜りたく、よろしくお願いします。

- ①各地区での会員名簿の充実。OB各位に連絡が取れる体制作り。
- ②各地区での親睦会の強化、積極参加と、OB会活動内容の周知。
- ③OB個人で、知人、友人へ声掛けをいただき、①、②の充実のご協力。

現在定常的に活動、賛同していただける会員はで増加させたく、皆様のご協力をお願いします。

ですが、これを

ま

以上



OB会中四国地区の開設にあたって

中四国地区幹事 八木 (45)

令和3年10月の紙面総会によって、中四国地区の開設が承認されました。役員は幹事が昭和45年 卒業の「八木」、卒業後電電公社(現NTT)に入社。副幹事は2名で昭和48年 卒業の「長尾」」氏、卒業後はマツダに入社。もう一人は令和元年 大学院卒業の「河本」」氏、卒業後はマツダに入社。役員ではないが、自宅の近く(車で15分程度)に、昭和42年 卒業の「尾崎」」氏が居られるので、相談に乗ってもらおうと思っている。

中四国地区のメンバーは中国地方、四国地方在住の自動車部OBの方々であるが、現在会員数は40名で、その内正会員は10名である。在住地をみると30名程度が山陽新幹線沿いである。中四国地区として、会員の皆様の親睦をどのように図っていくかが重要な課題であるが、本部からお話をいただいた頃が、コロナ禍のさなかであったこともあり、いまだに中四国地区としての役員会合が持てていない。早く、3名ではあるが会合を持ち意識合わせをしたいと思っている。

本部からは3年後(令和4年の中京地区総会の次)の総会幹事をお願いされており、のんびりはしておれない。その前に中四国地区のメンバー同志の結束をどのようにして作っていくかが重要なテーマであろう。まず頭に浮かぶのは、40名の会員のうち正会員は10名という現実である。当支部の場合正会員率25%である。総会の出席者も正会員の方々が大半のようである。OB会などの会合は義務で出かけるわけではなく、楽しいから出かける(一番は昔の仲間と久しぶりに会って話ができる)そのような場を作っていただく、また

(一番は昔の仲間と久しぶりに会って話かできる) そのよっな場を作っていただく、また 定期的に現役も含めた会員の情報をOB会誌として送ってくださる幹事の皆さんに感謝を 込めて会費を払うものだと思うのだが。正会員を増やす取り組みは私が言うまでもまく過 去から続いているとは思う。私は総会に出席するときに一番気になるのはどのような出席 者のメンバーかということである。あいつが来るなら行かないというネガティブなことで はなく、自分と一緒に現役時代を過ごした人がどれくらいいるかということである。現役 時代の記憶にある方は、上は3年先輩、下は2年後輩までである。総会出席者を見ても卒業 年次に偏りがあるのもその証明ではないか。難しい問題ではあるが、正会員率を高めるた めに、何らかの行動を起こさなければならない。

皆様よろしくお願いいたします。

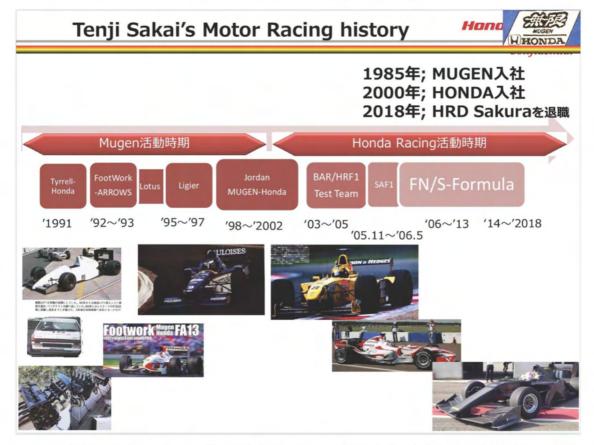
ホンダF1レーシング活動に携わって思うこと

坂井 (52)

1991年から2006年までホンダF1活動に携わって得た思いや表題ニュースに対する所感を述べます。

下の年表の様に、1991年8月からホンダのTyrrell F1/中嶋悟projectに参画することになりF1に携わり始めました。1992年~2000年の無限ホンダF1活動では全147戦にて4勝(Monaco/Spa/伊Monza/仏マニクール)を挙げることが出来ました。当時のNonワークス参戦では高い勝率に誇りを持っています。2000年からはホンダ本隊のF1活動に携わり、Jordan GPで佐藤琢磨選手のF1デビューや2006年のSuper Aguri F1新規参入に於いて、僅か2ヶ月でF1マシンを仕立て上げ、無事に第1戦に送り出す快挙(暴挙でもあった)も達することが出来ました。

ここで供に闘ってきたチームのエンジニアやdriver/ホンダのエンジニア達が今もモータースポーツの各方面で活躍していることは、非常に嬉しく大変誇りに思うことです。

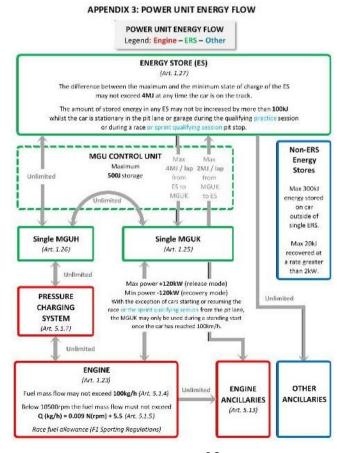


さて、F1だけでなくモータースポーツ全般が、driverの腕前やチーム力と共に技術の闘い、だとよく言われます。技術を育み、速いRacing Carを創り上げるのは、携わる人の知力・知見・知恵と"ひたむきさ"であり、最終的には人同士の闘いだと現場に居てつくづく感じてきました。どんな速さのクルマにするのか?driver/チームに何を競わせ、どんな闘いをさせるのか?を初めに考えて=conceptを元にして、車両規則/技術規則を策定されます。規則の最外側=エッジまで各component/各要素の性能を極めた人が勝ちを獲ることになります。

運動エネルギー回生=KERSが登場した2008年頃から、F1の技術規則はF1車体とパワートレインが持っているあらゆるエネルギーを回生 \bullet 再生利用するエネルギー効率最高化に向かいました。最重要なDownForceを生み出す車体の周りを流れる空気のエネルギーや、power unitに於いては燃料流量を100kg/hrに制限した上で燃料が持つ発熱量エネルギーをturboと(発電 \bullet 回生)MGUに依って"とことんしゃぶり尽くそう!"というものになりました。

下記の添付参考図(F1技術規約附則3のパワーユニットエネルギーフロー図)に示された様に、バッテリーからMGU-Kには1Lap当り最大4MJの電気エネルギーを送ることができ(最大値120kWの場合、約33秒間持続する電気エネルギー)、バッテリーがMGU-Kから受け取れる回生エネルギーは、1Lap当り最大2MJとなる。一方、MGU-Hは回生、出力の双方向で(turbine側の仕事量とCompresser側の仕事量の差分がmaxだが)無制限で、かつバッテリーを介さずにMGU-Kに回生エネルギーを送ることができる。Turboチャージャーの最適化と、2つの回生システムを巧みに組み合わせて、サーキット特性に最も合った電気エネルギーを使える様にするのが、謂わゆるエネルギーマネージメントと呼ばれるレース戦術という訳で、simulationの精度やエンジニアの腕の魅せ所になりました。また、エネマネには"Li-B cell/Energy Storageの最大性能発揮と耐久性/劣化との兼合い(SOCとDOD)の深め方が肝となっています。

2021年シーズンに於いて最近ではchampionship争いが拮抗する戦力が付いて来たことや、各 componentの開発が熟成されたことが視えて来た様子です。この領域の技術と人材の育成に成果 と結果が達成され、次世代のCarbonNeutralクルマの開発にフィードバックされる目処も付いて来 たのだと思われます。そこで、得られたKnowHowとresourceをCN戦略に振り向けるべく、今季 を以って撤退の運びとなったのだと、推察しています。以上が所感です。



30

車のハンドルを飛行機の操縦桿に持ち替えて

槙本 (54)

1. パイロットを目指したきっかけ

高校3年生の春休み、自衛隊の航空学生を目 指すいとこが遊びに来た。彼の話を聞きパイ ロットという職業に憧れを抱いた。高校3年生 の夏に宮崎の航空大学校を受験するも、身体 検査で不合格。その後、九州工業大学に進学 した。パイロットの道は諦めていたが、大学4 年生の時に、友人が教室に日本航空航空機関 士募集の載った新聞を持ってきた。当時は航 空会社の大卒パイロット募集はなく航空機関 士のみであった。パイロットの募集ではな かったがチャレンジしてみた。しかし、また も身体検査で不合格。その後大学院に進学 し、大学院卒業時にもう一度航空機関士のテ ストを受けてみることにした。5次試験まであ る入社試験に今回は無事合格し、1981年4月日 本航空に入社。当時の合格率は2%。現在もほ ぼ同率のようだ。

2. 入社後の厳しい3年間の訓練

入社後は、約3年間の訓練がある。内容としては大きく2つに分かれ、座学と実技訓練。座学は、航空機の構造、気象等の勉強をし、パイロットに必要な知識を身に付ける。もちろん英会話の勉強もある。実技訓練は、単発機の操縦訓練(場所はサンフランシスコ郊外のサパ)から始まり、担当となるB747の航空機関最後に国内線、近距離国際線での実地訓練での実地訓練に追われた。1、2ヶ月に一度節れる。学生時代と違い夏休みもなく、3年間節まる。学生時代と違い夏休みもなく、3年間節に追われた。1、2ヶ月に一度節れば、即その場で訓練中止。地上職へ職種変した。との後の人生に大きな糧となった。

3 航空機関士として

27歳で訓練を終え、航空機関士として世界を飛び回ることになる。最初は国内線、そして次に東南アジア、オセアニア、その後北米、ヨーロッパ、南米とフライトのエリアは広がっていき、22カ国32都市に行くことになった。

4. 航空機関士から副操縦士へ

バブル景気が弾けた後の1994年(38歳)に、 会社から、将来的に航空機関士の職業がなく なると言うことでパイロットへの職変の打診 があった。航空機関士の仕事は徐々にコンピューターに置き換えられるからである。ついに、パイロットへの道が開かれた。38歳と言うのはエアラインパイロットの訓練を受けるには歳をとりすぎている。しかしやるしかない。航空機関士の仕事は定年までは続けられないのだから。



長崎大村飛行場でのパイロット訓練時代

ここでは約2年間の訓練を受けた。双発機の操 縦訓練(長崎大村飛行場)、さらにB747の操縦 訓練(ワシントン州モーゼスレイク) である。 そして、ついに40歳でB747の副操縦士として 世界を駆け巡ることになる。パイロットは路 線資格が必要になる。世界を国内、東南アジ アオセアニア地区、北米南米地区、ヨーロッ パ地区と4つのエリアに分け、それぞれでフラ イトチェックを受け、合格しなければそのエ リアは飛行できない。それぞれのエリアの ルートの特徴を勉強し、飛行場の特性、目的 地の気象などの知識を身に付け試験を受け る。東南アジアは、ルート及び目的地に熱帯 特有の巨大な積乱雲が点在する。これをいか に避けて飛行するかが肝だ。北米ルートは、 太平洋を横断する海上ルートであり、何か起 きたときに降りるところが少ない。さらにど のルートよりも揺れる。もっともシビアー タービュレンスに注意が必要なルートだ。 B747の副操縦士を7年半務めたところで、最新 機種B777の副操縦士に移行となった。

5. 副操縦士から機長へ

最終的にパイロットは機長を目指す。機長になる訓練を受けるには、副操縦士として10年以上の経験が必要となる。私が、機長訓練の順番が回ってきたのは2008年秋、52歳の時であった。これまた、機長訓練を受けるには高齢である。ボケかかった体に鞭を打ち頑張った。機長訓練の肝は、判断力と決断力、そして責任感。200人~300人の命を常に預かる。技倆的には副操縦士時代に多くを学んで

いる。この訓練では、多くの情報を手にし、いかに最善の手を打つかの判断力、決断力があるかが問われる。優柔不断は禁物だ。訓練は、主に国内線で行われ、約1年と3ヶ月で終了した。そして、機長初フライトは2010年1月19日、羽田発福岡行き。日本航空が倒産した日だった。

6. パイロットの日々の生活

パイロットの生活は非常に不規則である。 土曜日曜、ゴールデンウィークもお正月も関係ない。ひと月で休みは10日間もらえる。それ以外は、国内線も国際線も飛ぶ。



LHR:ロンドン SIN:シンガポール CDG:パリ JFK: ニューヨーク H:休日 S○○:自宅スタンバイ

表はある月のフライトスケジュールだ。国内線、東南アジア、ヨーロッパ、北米、とこの月は大変忙しかった。西に行くと現地ではよく眠れる。しかし東(北米)に行った時は現地ではよく眠れない。同じ10時間近い時差でも、東に行くのと西に行くのでは大きな違いがある。結局、何十年たっても時差の克服はできなかった。上手に付き合うしかない。

7. 思い出のフライト

長きパイロット生活の中で特に思い出に 残っているフライトは、チャーター便でスペイン、バルセロナまで飛んだフライトだ。



バルセロナ、エル・プラット国際空港にて

日本で行われたクラブチャンピオンシップの ため訪れたサッカーチームバルセロナを、試 合後スペインのバルセロナまで送って行っ た。機内では多くの有名な選手達と会い、つ たないスペイン語でアナウンスもした。貴重 な経験だった。

8. 41年間のパイロット人生を終えて

この仕事ならではの貴重な体験もさせても らった。特に記憶に残っているのは、東西ド イツ時代の東ベルリン。西ドイツのハンブル グに行った時、そこから鉄道で行ったのだ が、一旦西ベルリンに入りそこから検問所を 通り東ベルリンに入った。東ベルリンの街は 灰色一色で色のない街。お茶でも飲もうと両 替したコインは、すべて1円玉の様にアルミで できていた。ソ連時代のモスクワも面白かっ た。食料が乏しく、レストランに行ってもパ ンとボルシチぐらいしか食べるものがなかっ た。食料は、日本から持ち込みホテルで料理 をして食べた。ビールなどは闇で買い、手に 入れたビールはなぜかアメリカのビール。お 土産にカニ缶やキャビアを買うのだが、現地 ではカニ缶が200円、キャビアが500円(日本で の価格は15,000円位)で手に入った。ここも街 の色は灰色一色。共産国に共通するのであ る。退職するまで41年間で計25ヶ国43都市に 行った。



ラストフライトを終えて(成田空港)

千葉に住みながらパイロットの仕事をしてい たが、退職後はゆっくりとした生活がしたく に戻って来ている。

自動車部の後輩たち、パイロットという職業はいかがでしょうか? 九州の学生にとってパイロットという仕事はあまりなじみのない仕事かもわからないが、どこの航空会社も毎年募集しているし、生涯の仕事としては面白いと思う。肉体的には時差や徹夜があり大変ではあるが、給料も良く(20代で1300万、50代では3000万)チャレンジしてみてはどうだろう。

2020年度卒業生からの近況報告

2019年度の主将を務めさせていただきました、原田です。 今は 卒 業し、九工大の大学院で 研究を行っています。自 動車部にも継続して在籍しており、いつの間にか最年長に なってしまいました。今後も後輩たちを支え、支えられなが ら学生生活の最後を楽しんでいきたいと思います。あと、就 職活動も頑張ります! (九州工業大学大学院 原田)



21年3月に卒業しました、元連盟員、会計の渡邉です。 今は研究開発の仕事をしています。毎日多くの人に様々なことを教えていただきながら試行錯誤しています。残業規制がかかる中、最大限のサービスを提供できるように奮闘中です!残念ながら、新型コロナウイルスや半導体不足、アルミ価格の高騰などにより、今年も赤字の予想です。来年の賞与も期待できませんが、車も男のフルローンを組んで購入しました(笑)早く家計の自転車操業を脱せるようがんばります。 (リョービ(株) 渡邉



2021年度で学部卒業し、社会人となりました横手です。 現在は車のメーカーに勤め、ハイブリッド車に搭載される電 池パックの評価試験をする仕事をしております。環境を考え ているのかと思いきや、プライベートではたまにラリー参 戦、うるさい車で楽しくモータースポーツしております。 自動車業界は100年に一度の大変革期で、モビリティとして の車のあり方が問われています。大好きな昔の車はどんどん 排斥されていくなか、葛藤もありますがお客様のニーズに 合った車(モビリティ)を追求していきたいと思います。 (トヨタ自動車九州(株)横手



会員名簿

本会員名簿は個人情報となりますので、お取り扱いには十分ご注意ください。

- ・住所が空欄の方は、連絡方法がございません。ご存知の方がいらっしゃいましたら、ご本人様に、会誌担当の早田へ連絡(連絡先は34ペーシ右下を参照)していただくようお伝え願います。 連絡先は流星の配布または、自動車部OB会の連絡のみに使用いたします。
- ・住所やEメールアドレスに変更がある方、氏名/住所の記載を希望しない方も、ご連絡下さい。

【物故者】													2021/12/1				
学科 卒年 氏名	学科 卒年	氏名	地域	都道府県	郡市	学科 卒年	氏名	地域	都道府県	郡市	学科 卒年	氏名	地域	都道府県	郡市		

【編集後記】

コロナ2年目となりますが、状況が落ち着いてきたことと、 我々の生活も順応する中、いかがお過ごしでしょうか。私は いろんな意味での2ndライフに活路を見出し、楽しい毎日を おくっております。(早)

明専・九州工業大学自動車部OB会ホームページ

http://himaob7.kagebo-shi.com/index.html

一般公開部分は、どなたでも見ることができます。

過去の自動車部資料から現在の OB会の活動まで幅広くカバーしています。

管理者:HP担当役員近藤 (54)

発行日

2021年12月25日

発行者 九州工業大学責善会自動車部 主将 藤井

明専·九州工大自動車部OB会

会長 伊東 (44)

編集者 早田 (54)

口座番号

